

平成29年度湖南省一般
会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ
2億3947万7千円
を追加し、補正後の額
を226億1780万
円とするものです。

多くの事業の補正に
ついて質疑が出されま
した。

地域総合センター整
備事業については、歳
出予算として、松籟会
館の老朽化に伴い、建
て替えのため基本設計
業務委託211万7千
円を増額計上。広域清
掃経費については、歳
出予算として、甲賀
広域行政組合負担金
1166万3千円を減
額、前年度繰越金確定
により負担金の変更を
したとの説明でした。

負担金割合について
の質疑に対して、利用
に応じた利用割で甲賀
市68・71%、湖南省31・
29%であるとの答弁で
した。生活保護費支援

事業については、歳出
予算として、被保護者
数、医療費等の増で
6046万円増額、歳
入予算として、国庫支
出金3604万1千円
増額との説明でした。

医療扶助費の増額は
何が原因かとの質疑に
対して、透析患者が増
えている事や全体的な
傾向として、被保護世
帯の増加、中でも高齢
者世帯が増えたとの答
弁でした。

病児保育事業につい
ては、歳出予算として
病児保育施設の建設が
不要となったことによ
り2200万円の減
額。それに伴う歳入予
算として県支出金が1
740万円の減額との
説明でした。

減額になった理由は
との質疑に対して、2
施設の改修予定だった
が、1施設は小規模な
改修で済んだためとの
答弁でした。

また、債務負担行為
による補正については、
湖南省複合庁舎基本設
計業務として、平成29
年度から平成31年度ま
でに1億810万8千
円、湖南省複合庁舎整
備発注者支援業務と
して、平成29年度か
ら平成31年度までに
6320万円、湖南省
複合庁舎整備オフィス
環境整備業務として平
成29年度から平成33年
度までに2665万円
が計上されており、各
委員から今回の補正に
計上されるに至った経
緯等について、集中的
な質疑がおこなわれま
した。

「これらの債務負担
行為は、庁舎を建て替
えるということが決まっ
て行われるものか」と
の質疑に対して、基本
構想において増築案や
建て替え案を比較検
討し、将来的に一番有
利で有効な案である建

て替え案を基本計画と
して報告させていただ
いたものである。次の
ステップとして基本設
計を行うため、債務負
担行為の設定を行うと
の答弁でした。基本設
計を行ううえで、今後
住民の意見を取り入れ
るかとの質疑に対して
基本設計の段階でワー
クショップを開催する
との答弁でした。質疑
の後、討論があり、特
に複合庁舎整備基本設
計業務にかかる債務負
担行為について、議論
が尽くされていない。
各方面の意見が集約さ
れていない。との理由
から時期尚早であると
して債務負担行為の設
定に反対との意見の他
有利な起債の活用、防
災機能の強化、効率的
な庁舎機能の確立とい
う観点から賛成する
という意見がありました。

賛成多数で可決

議会改革推進特別委員会

議会改革推進委員会報
告

本委員会が取り組む
べき事項について、各
会派及び無党派議員か
ら意見をとりまとめま
した。項目としては

- ・ 議会報告会の進め方
- ・ 議員定数の見直し
- ・ ICT化(タブレット
導入、ペーパーレ
ス化)
- ・ 議員間討議の活性化
- ・ 主権者教育の取組み
などがあがっています。

特に、今まで7回開
催してきた議会報告会
については、改選前の
委員会で課題を検証し、
見直しの方向が出され
たことを受けて、

- ・ 平成30年度は、まち
づくり協議会役員と、
(まち協単位の7ブ
ロックに分けた)市
内43区長を対象とす
る。その後は、課題
別に関係する各種団
体などを対象とする。
- ・ 形式は、懇談会、意

見交換会とする。
・ 平成30年度の開催時
期は、5月の2日間
とする。

・ 出席議員は、地元出
身者を中心に班編成
をする。
などの要領で進めてい
きます。

その他の取り組みに
ついては、多くの意見
が出ている中から、優
先する事項を議論して
いきます。



議場で行われた甲西中議会